

第10回日中韓三国保健大臣会合共同声明（概要・仮訳）

1 新興・再興感染症の予防・対策

- 地理的な近接性と人・物の往来の頻度から、感染症の拡大を防止するため更なる協力が必要。感染症対策に関するこれまでの3か国間の協力の実績を評価。
- 地域における健康危機への予防と備えの更なる強化に向け、アジア太平洋諸国やWPROと緊密に協力。3か国間の迅速な情報共有、公衆衛生への脅威の監視、急性感染症の発生に対応する能力の強化を継続。

2 健康な高齢化

- 日中韓高齢化セミナーの開催を歓迎。保健政策の情報交換に引き続き本会合を活用。調査ネットワークを活性化。

3 非感染性疾患（NCD）の予防・対策

- NCDの早期検査、早期診断、早期治療を継続。NCDの効果的な対策のために情報共有と技術交流を強化。

4 ICT技術の活用

- ICTとビッグデータの疾病対策と健康増進への活用を議論。保健分野でのICTとビッグデータの活用に関する好事例を共有。

5 伝統医療

- 伝統医療に関するWHO決議の実施と国際疾病分類第11版等への伝統医療の導入のために交流と協力を強化。伝統医療担当部門の協力を強化。

6 次回の会合

- 大臣会合の定期的な開催と、組織・個人間の関係の構築の促進を再確認。2018年は日本で開催。